



# 白熱した「議論」で 新年度予算をチェック！

「ギョウ」の視点」で新年度予算をピックアップしてみました☆

令和6年予算特別委員会は、3月4日に議長を除く17名で設置され、委員長に阿左美守委員、副委員長に中村正義委員を選出し、3月7日・8日・11日の3日間で審査を行いました。

予算の立案過程は透明なものか、それに基づく事業は市民の思いに添っているのかなど、さまざまな視点で質疑をし、白熱した議論が交わされました。一般会計予算は272億7000万円を可決しました。



阿左美 守 予算特別委員長

## ●災害用備蓄品整備事業 【危機管理課】

**問** 非常用備蓄品購入費で366万6000円を予算計上しているが、購入する備蓄品などの種類と配備先は。

**答** 賞味期限を迎える備蓄食料の買い替えを予定しているが、備蓄品の種類は、アルファ米を4800食、保存水1008本、羊かん430箱、粉ミルク24缶、液体ミルク168缶を市内12カ所の避難所と庁舎に配備する。また、不足するトイレ需要の解消として、ラップポイントイレを2台、場所を仕切るための防災ルーム、停電対策用の照明器具3基を購入する予定である。



## ●映画製作事業 【地域創生課】

**問** 岩宿（旧石器）時代の石器を発見した相澤忠洋氏の功績を伝える映画の制作に当たり、上映時間が100分から120分ということで、子どもたちが見るには長いのでは。また、制作に係る費用は。

**答** 映画の時間については、映画館で上映できることを想定した時間設定をしているが、子どもたちが学校で見えていただくことも検討したい。また、制作費用については、公募型プロポーザルにより業者選定を行い、映画制作を行っていくが、上映まで約1億円の費用を見込んでいる。



## ●英語力向上対策事業 【学校教育課】

**問** 英語検定助成金210万円について、中学3年生の3級の受験料のみ5000円助成するのか。詳細な内容と積算根拠は。

**答** 市内中学校3年生420名に対して、5月に行われる英語検定において検定料1回分を全額助成し、全校体制で英検に取り組めるようにしたいという意図がある。また、予算の根拠については、学校を会場とすると検定料が若干安く4700円の420人分で197万4000円であるが、3級以外のほかの級を受験したい生徒にも対応できるよう若干上乗せした予算計上となっている。



### ●エコアクション推進事業 【生活環境課】

**問** 事業内容と、たまったポイントの交換方法などの周知については。

**答** 環境に配慮した行動、サービス利用に対してエコアクションポイントが付与されるという環境省のポイントプログラムを利用し、市民や市内事業者が環境により取り組みを行っていただく事業。周知方法については、ホームページや広報への掲載、回覧板による全戸配布、公式LINEによる配信、市が主催する各種イベントなどでチラシ配布やブースを設けるなどして啓発予定。また、小中学校、幼稚園、保育園でも周知を行い、子どもから大人への波及も目指す。



### ●子ども家庭総合支援事業 【こども課】

**問** 事業の詳細と、児童虐待などへの予防啓発の内容については。

**答** 虐待、DV予防、ヤングケアラー対策、ひとり親支援などの子ども家庭支援全般に係る相談、援助事業である。児童虐待などへの予防啓発の内容については、国により毎年11月が児童虐待防止月間と位置づけられており、本市においては広報への掲載、笠懸庁舎玄関前に啓発用懸垂幕の設置、公用車へのオレンジリボンマグネットの張りつけ、市内の公共機関などでの啓発ポスターの掲示、またリーフレットの配布などを行っている。



### ●店舗等利活用促進事業 【商工課】

**問** 令和5年度と比較すると200万円増額となっているが、その理由と積算根拠は。

**答** 本補助金は、市内の空き店舗を活用して出店する事業者に対する空き店舗活用補助金と、既存の店舗を改装してリニューアルする事業者に対する店舗リニューアル補助金の大きく2つの補助金がある。空き店舗を活用した補助金の活用が少ないことから、対象を空き家に広げるとともに、移住して起業する方等に加算措置を設けることで商店街の活性化、移住促進につなげていきたい。



### ●土地利用計画事業 【都市計画課】

**問** 土地利用計画事業に係る整備工事費の内容は。

**答** まちづくりの取り組みとして、大間々官民共創デザインで官と民が連携してさまざまな取り組みを進めている。歩道の拡幅や美装化、案内標識を分かりやすくするなど、官の取り組みとして500万円を予算計上した。令和6年度は社会実験的な取り組みになると思うが、リノベーションまちづくりを活性化させたい。



### ●競艇事業特別会計 【競艇事業局】

**問** 令和6年度は令和5年度に比べて開催日数が6日多く、スケートボードパークなどの開設が予定されているが、入場料が減額して予算計上されている。入場料の積算根拠は。

**答** 令和6年度はGI競走が多く行われるが、コロナ禍による本場離れが続いていることや全体的に入場者が減少傾向に推移していることから、1日の入場予定数を1050人から50人減の1000人で予算計上している。スケートボードパークなどの新たな施設を設置することで入場者の減少に歯止めをかける。

